

学校教育目標	○互いを認め、高めあう学びを大切にします。 【知】				
	○自他の生命を尊重し、思いやる心を大切にします。【徳・体】				
○自らの生き方を考え、実践する力を大切にします。【公・開】					
学校概要	創立 43 周年	学校長 小林 哲郎	副校長 大庭 一修	2 学期制	一般学級：14 個別支援学級：3
	児童生徒数： 533 人 主な関係校： 名瀬小学校 川上北小学校 川上小学校				

<b>教育課程全体で 育成を目指す資質・能力</b>	<b>名瀬中 ブロック</b>	<b>小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組</b>
言語活動によるコミュニケーション能力 自分の身を自分で守る力 地域の一員として社会に貢献する力	名瀬中学校 名瀬小学校 川上北小学校	自他を認め合い、友達や社会と関わりながら、 課題解決に向けて、主体的に学び続ける子  ○ブロックで合同授業研究会や各種研修会を開催し、育てたい子どもの姿や各学校の取組を共有して教育活動に生かす。 ○友達や地域と豊かに関わりながら課題解決的、協働的に学ぶ学習過程を大切にしたい授業改善に努める。 ○支援が必要な児童・生徒について情報交換を行い、より個に寄り添った支援を小中双方で協働して取り組む。

<b>中期取組目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの生徒の特性の理解に努め、きめ細やかな指導を継続して学校が生き生きと過ごせる場となるよう努めます。</li> <li>職員同士も含め、コミュニケーションの基本となるあいさつ運動の活性化に努めます。</li> <li>保健指導や災害教育を通じて、自分の健康・安全を自分で守れる生徒の育成に努めます。</li> <li>地域活動への積極的な参加を促し、地域の一員としての意識と貢献できる力を育てます。</li> <li>「わかる」「できる」「楽しい」授業づくりを推進し、学力の向上を図ります。</li> </ul>
---------------	---

重点取組分野		具体的取組
知	確かな学力	①校内及び小中の相互授業参観を実施し授業改善および授業力向上を図る。 ②学びあいを重視し言語活動を通じて思考力、判断力を高め、グループ学習や討議、プレゼンテーションの機会を計画的に増やすことで表現力や生徒のコミュニケーション能力の向上を図る。
担当	学習指導部	
徳	豊かな心	①「道徳」の授業を通じて、物事をさまざまな角度から深く考えさせることにより、「規範意識」や「自己有用感」、「自己肯定感」を伸長する。 ②コミュニケーションの入り口としての「あいさつ運動」の活性化を図る。
担当	道徳係・生徒会係	
体	健康な心身	①危険を回避し、災害から身を守るだけでなく、自分の体調をしっかりと把握し、傷病を未然に防ぎ、自分の身を守る意識を高める。 ②健康な体をつくるための「食」の重要性を啓発し、バランスの取れた規則正しい食事を意識づける。
担当	保健安全指導部	
公開	地域との連携	①地域の一員としての自覚を高め、積極的に役割をはたせるよう、地域行事への生徒の参加を促す。 ②学区内にある福祉施設、高齢者介護施設等とのかかわりを持ち、地域の特色ともいえる「福祉」への意識を高める。
担当	教務・生徒指導専任	
いじめへの対応		①定期的(週1)に生徒指導の打ち合わせを設定し、情報共有による早期発見、早期対応を図る。 ②いじめ防止対策委員会を月1回以上、必要に応じて臨時にも開催し、いじめへの対処だけでなくいじめを許さない環境づくりに努める。
担当	いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方)		①風通しの良い雰囲気の中で情報や気づきを共有し、常に学び合う職員集団の育成を図る。 ②研究授業、S.C・S.S.Wの活用により、授業力、生徒指導など教師力の向上を図る。 ③会議の効率化で、生徒に関わる時間の確保と職員のワークライフバランスの向上を図る。
担当	管理職・学年連絡会	
特別支援教育		①特別支援に対する職員の意識を高め、ユニバーサルデザインの観点により、どの生徒にとっても生活しやすい学校環境を整備するとともに授業の展開を工夫する。 ②特別支援教育コーディネーターを中心に、生徒の特性の理解と情報の共有、効果的な指導方法を検討する。
担当	特別支援委員会	
生徒指導		①カウンセリングマインド(受容と共感)を基本とした教育相談活動の充実を図り、寄り添う生徒指導の実践を図る。 ②問題行動について現象だけにとらわれず、深い生徒理解による多方面からの対処方法を検討する。
担当	生徒指導部	
キャリア教育		①身近な職業についての学習を充実させ、地域の協力を得ながら計画的な職業学習を企画し実施する。 ②生徒が主体的に卒業後の進路選択ができるよう、情報を収集・提供し、学年に応じた適切な支援を行う。
担当	特別活動指導部・総合	
SDGsの推進		①行事等の教育活動をSDGsの視点(持続可能性等)で見直し、身近な課題を解決するために必要な取組を推進する。 ②各教科の授業における学習内容に関してSDGsと関連性をもたせ生徒の意識を高める。
担当	学習指導部・特別活動指導部	